



▲10月29日(火)東京工業大学の
中島・松下研究室を訪問しました。

「必ずつまずきポイントがある。
だから繰り返し練習する」と

「東工大には、自然の現象や物質の性質、太陽電池の研究をしている理系女子がいて、コッコツとコンスタントに研究成果を挙げています。ぜひ、彼女たちとお話をしてみてください」という、中島章教授からのお誘いを受け、この座談会が実現しました。

めぐろ編集員(以下め) どうして、理系に進もうと思ったのですか？

谷本 歴史とかが苦手、小中学校から、理数が好きだったので迷うことなく理系に進みました。それに環境問題などに、技術で貢献したかったからです。

関 情報がたくさんある中で、物事をよく理解したいと思ったから、理系に進みました。

斉藤 私は、体験入学で決めました。

堆 一つの間にか。中学のときから理科や実験が好きでした。決めたのは高校生の頃です。東工大を選んだのは、家から近かったからです。

堆め 家から近かったからですか？

堆 もちろん、理系のトップレベルの大学で、材料工学の専門性が高いからという理由もあります。

谷本 私も通える国立を選びました。東工大は東京に出てみたかったので、東

斉藤 私は、研究に不自由しないと思

谷本 研究がしやすいそうで学費が安いという理由と、受験科目が自分に合っているのを選びましたが、緑も豊かで、とても気に入っています。

め 理系のいいところはどこですか？

斉藤 世界最先端のことができるところ。そして、世界に向けて研究の発表ができて、人の役に立てたり、誰かの参考にしてもらえたりするところ。

堆 数学は答えが1つで、正しいものがあるところ。国語とかは、感じ方が人によってそれぞれ違うから、私は逆に難しく感じます。

谷本 確かに、文系はハッキリしないところがありますよね。それに、理系のいいところは、新しい発見があるところ。私は環境問題に取り組みたかったので、さまざまなものを扱っていて大きな問題に対していろいろなアプローチ

ていて、自分の場所がある。

斉藤 サークル活動などができないわけ

ではないし、アルバイトもできるし、友達とご飯を食べに行ったりもする。3年までは、座学で普通に授業を選択してとっているのが文系と差はないと思う。4年になると研究室に入り、実験が増え、研究室で過ごす時間が増えるので、理系の人は研究室でのつながりがより強くなると思う。

関 確かに、理系は研究室がメインになって、どうしても、研究室でのつながりが多くなりがち。

め 理系の科目が苦手なのですが、どうしたら得意になれるでしょうか？

堆 得意だと思ふこと、好きなことを見つかること。

斉藤 私も数学や物理は嫌いだけどなん

とかなる。気持ちが大切。

谷本 必ずつまずきポイントというのはあるの、繰り返し練習することが大切だと思ふ。

堆 最後に、みなさんの座右の銘があり

ましたら教えてください。

谷本 Impossible is nothing.

関 Haste not, rest not. あせらず休

まず。

め 本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

理系女子同士、研究室の垣根を越えて
話も弾みます！



中島 章先生
関 博子さん
(田中・生駒研究室・大学院1年)

思ってた(イメージ)よりも、堅くなかったです。おしゃれでした。(潮川)
堅そうなイメージだったけど、思ったより明るく、気さくな方だった。(高橋彩)
思っていたよりも明るい人たちだった。フィギュアのインパクト、すまじい(シエリル)。(高橋玲)
とても真面目で堅そうなイメージを持っていましたが、話を聞いてみてとても楽しかったです。(パロウ)

あつ りと み
堆 仁美さん
(鶴見・武田研究室・大学院2年)

たにもと れ み
谷本 伶美さん
(中島・松下研究室・大学院4年)

さいとう しほ み
斉藤 潮美さん
(中島・松下研究室・大学院2年)

チをしている中島・松下研究室を選びました。いつも新しい発見があります。ナノメーションというナノテクノロジーと医学、生命科学、生物学などを融合させた技術で、薬を身体に運びやすくしたり、病気を発見する機器を作ったりと、みんなの役に立っている研究ができるんです。

堆 関さんの生体材料もそうですが、材料が変わると性質が変わることを研究している電子材料でも、身の回りに関わる研究ができることが理系のいいところですね。

堆め 理系で大変なことは何ですか？

堆 研究していて、思い通りの結果が出ないと、自分の時間を割かないといけない。でも、それが面白みでもあり、楽しさでもあります。

斉藤 実験をしてたくさんデータを取るので、時間に縛られることが多く大変。でも、いろいろなことを考え、力をつけていくために必要なことですね。

谷本 何しろ時間が少ない。授業、実験が多く、知識や実践を積み重ねなければいけないことです。平日は毎日、ずっと実験をしている感じがします。

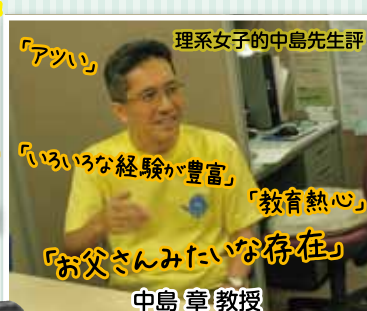
関 それと、女子が少ないこと、理系の大学では、平均一割くらいしかないこと。実験では試行錯誤が多く、使えるデータにするまでが大変。

め 理系の学生生活は、文系の学生とどこが違うと思いますか？

堆 研究室には自分のデスクが与えられ

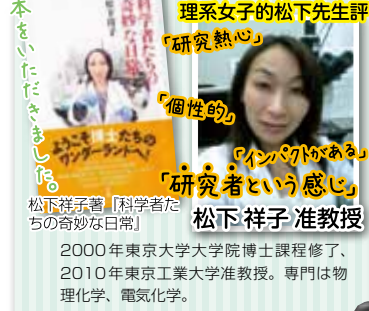
中島・松下研究室 紹介

資源、環境、エネルギーなどの問題を解決するための、環境浄化機能をもつセラミックスや未利用天然資源や廃棄物有効利用の新材料で作る高機能をもつセラミックスの研究を進めていて、材料のもつ種々の挙動、物性についても研究を行っている。



理系女子の中島先生評

「アツい」
「いろいろな経験が豊富」
「教育熱心」
「お父さんみたいな存在」
中島 章教授



理系女子の松下先生評

「研究熱心」
「個性的」
「インテリジェント」
「研究者という感じ」
松下 祥子 准教授
2000年東京大学大学院博士課程修了、
2010年東京工業大学准教授。専門は物理化学、電気化学。

エネルギー問題についても聞きました！
太陽光、地熱のほか、波力や日本の海底に眠るメタンハイドレートを使った発電方法があることを教えてくれました。効率の良い発電電というもあるそうです。(潮川)

1987年東京工業大学大学院修士課程修了、
1997年ペンシルバニア州立大学大学院博士課程修了、2009年から東京工業大学教授。
専門は表面機能材料。

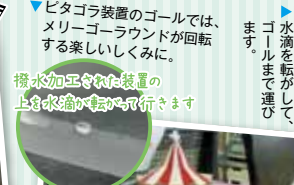
工大祭レポート



全面撥水加工された迷路です。



セラミック折り紙



ビタゴラ装置のゴールでは、メリーゴーラウンドが回転する楽しい仕組みに。



液体窒素の実験で



暗い照明とソファが置いてある小部屋で、みんなJAZZの世界に浸りました。(パロウ)



▲10月12日(土)の工大祭は、すごく盛り上がりしていました。